

オートマトンと言語

大阪分散技術コミュニティ

2019 年 1 月 21 日

タイトル オートマトンと言語

著者 Michael Sipser

訳者 太田和夫, 田中圭介

出版日 2008/5/21

出版社 共立出版

ISBN10 4320122070

ISBN13 978-4320122079

ページ数 240

言語 ja

内容 MIT 屈指の名講義の講義ノートをもとめた書

1 Notation

使用する記号と用語についてまとめる。

Σ : Alphabet 空でない有限集合

s : Symbol(文字) アルファベットの元

ω : String over an alphabet 有限の文字列

$|\omega|$: Length 文字列の長さ

ϵ : Empty string(空列) $|\epsilon| := 0$

L : Language(言語) 文字列の集合

$\Sigma_\epsilon := \Sigma \cup \{\epsilon\}$

2^A : A のべき集合

\mathbb{N} : 0 を含む自然数

$w = s_1 s_2 \cdots s_n$ であり、文字列と文字は区別される。 $|w| = n$ である。

star(スター演算)

集合 A に対してスター演算を以下で定義する。

$$A^* = \{x_1x_2\cdots x_k | x_i \in A, k \in \mathbb{N}\}$$

例 $\Sigma = \{0, 1\}$ とすると、 $\Sigma^* = \{\varepsilon, 0, 1, 00, 01, 10, 11, \dots\}$

2 Automaton

Finite Automaton(有限オートマトン) を以下で定義する。

$$M = \langle Q, \Sigma, \delta, q_0, F \rangle$$

Q : States(状態集合) 空でない有限集合

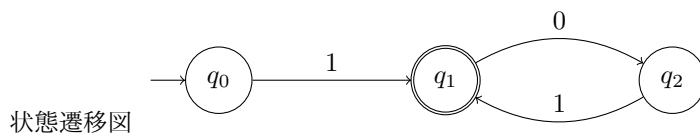
Σ : Alphabet 空でない有限集合

δ : Transition functions(遷移関数) $Q \times \Sigma \rightarrow Q$

q_0 : Start state(開始状態) $q_0 \in Q$

F : Set of accept states(受理状態集合) $F \subset Q$

3 State Diagram



4 Nondeterministic Automaton

先述の定義は Deterministic Finite Automaton(DFA, 決定性有限オートマトン) と呼ばれ、遷移関数 $\delta: \Sigma$ を a に置き換えたものを、Nondeterministic Finite Automaton(NFA, 非決定性有限オートマトン) と呼ぶ。

5 Turing machine

Turing 機械に対して、 M の言語 (the language of M) を

$$L(M) = \{\omega \in \Sigma^* | M(\omega) = \text{accept}\}$$

によって定義する。

5.1 Turing-recognizable

言語 L が認識可能とは、ある Turing 機械 M が存在し、 $L(M) = L$ となることである。

5.2 Turing-decidable

Turing 機械 M が判定装置 (decider) であるとは

$$\forall \omega \in \Sigma^*, M(\omega) \neq \text{loop}$$

となることである。

言語 L が判定可能とは、 L が認識可能かつ M が判定装置であることである。

6 Annotation

p15, 一をつなげてるとき、その有向グラフを強連結 (strongly connected) という。

正確な定義は任意の 2 点間に有向路 (directed path) が存在することである。例えば図 0.16 だと頂点は繋がっているが (connected)、3 から 6 は辿ることができない。よって強連結 (strongly connected) とは言えない。

7 Questions

p30, 演習

0.1

- a). 奇数
- b). 負を含む偶数
- c). 偶数
- d). 偶数かつ奇数
- e). $\{(0, 0), (0, 1), (1, 0), (1, 1)\}$
- f). \emptyset

0.2

- a). $\{1, 10, 100\}$
- b). $\{m \in \mathbb{Z} | m > 5\}$
- c). $\{n \in \mathbb{N} | n < 5\}$
- d). $\{abc\}$
- e). $\{\epsilon\}$
- f). \emptyset

0.3

- a). はい。
- b). いいえ。
- c). $\{x, y, z\}$
- d). $\{x, y\}$
- e). $\{(x, x), (x, y), (y, x), (y, y), (z, x), (z, y)\}$
- f). $\{\{x, y\}, \{x\}, \{y\}, \emptyset\}$

f). 集合 B の冪集合 (power set) は 2^B という記号で表すことが多い。

0.4

$$a \times b$$

0.5

$$2^c$$

0.6

- a). 7
- b). X, Y
- c). 6
- d). $X \times X, Y$
- e). 8

0.7

- a). 例えば、 $a = a'$ or $b = b'$ によって関係 R を定めると

b). b

c). b mathématique

0.8

pandax 宿題

0.9

pandax 宿題